

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2373700315		
法人名	有限会社 政経		
事業所名	グループホーム尾西蓮池の家 1号館		
所在地	一宮市蓮池郷東 20-2		
自己評価作成日	令和4年8月31日	評価結果市町村受理日	令和4年9月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2373700315-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2373700315-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県新城市黒田字大岡132番地2		
訪問調査日	令和4年9月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事は3食手作りで、皆様「美味しい」と楽しみにされています。</li> <li>・ミキサー食・刻み食・粥・普通食等一人一人に合わせた形態で作っています。</li> <li>・ラジオ体操・歌の時間は毎朝行い、身体を動かす時間を作っています。</li> <li>・昼食前には毎回口腔体操行い、誤嚥防止行っています。</li> <li>・コロナ禍で外出支援できないが、4月の桜・6月紫陽花のお花見に近隣へ外出し気分転換図っています。各館で、塗り絵・計算問題・漢字の書き取り、洗濯たたみ、編み物等本人のやりたい事を行い、楽しさを提供しています。</li> </ul>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>管理者も一職員としての勤務が長く、職員にも慣れ親しんだ人が多く居て「つつがなく毎日が送れる」という点では安心です。家族も「本人の帰宅願望が減ったのは職員のおかげと感謝している」「家族ではできない書類手続きなどを嫌な顔をせずにやってくれる」と、評判は上々です。やや心配なのは職員の高齢化が年々進んでいることで、品質が担保されていけるのかということは中長期の課題ですが、それでも食事は手作りで、毎月何らかの行事開催をおこない、2、3ヶ月に1度は壁画製作で季節を感じてもらい、畑で収穫の喜びを味わってもらうことはできて、「大嫌いなのお花見にいった」として家族を驚かせた外出支援も叶っています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は、理念を共有し、実践に向けて日々取り組んでいます。	「優しく、穏やかに静かな介護を目指す」との理念は、家族アンケートで実践と成果が確認できません。「楽しそう」「話しやすい」家庭的などともに、「心配が解消された」との意見も目立ち、家族の評価は上々です。	家族は事業所と職員の対応に満足していますが、1点「忙しそうにしているため声をかけにくい」という点は理念と乖離しますので、改善を期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣の畑の方と挨拶したり気軽に話掛けて下さる。畑で出来たスイカの差し入れがあります。コロナ禍の為、外出は中止。散歩時、近隣の方との挨拶交わしています。	獅子舞訪問や中学校の運動会見学など、地域の行事並びに関わりは断たれていますが、中学校からは「コロナ禍のためご遠慮いただきたい」との丁寧な書面が届いていて、地域の一員として尊重されていることが覗えます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方の理解や支援を地域の人々が気軽にホームに来て頂けるよう、民生委員、町内役員さんや近隣のケアマネさん、家族様に面会や訪問して頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍、運営推進会議中止しています。前回同様2ヶ月分の活動内容を市役所介護保険課・包括支援センター、町会長、民生委員に持参して、空き状況伝えて、相談に応じています。	運営推進会議は書面開催となっていて、参会はできていません。2ヶ月分の活動内容やデータなどを管理者がまとめ、メンバーに届けています。会えてはいないものの、民生委員からは空室照会もあり、気にかけてもらえています。	返信シート(FAX)や葉書を同封し、地域状況の質問などに回答してもらえらる仕組みをつくることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所に月に何度か訪問して、市の担当者と情報交換や入居者の相談をして協力体制を築いています	生活保護受給者が7名いますが、コロナ禍のためか行政の来訪はありません。管理者が生活保護課に出向き、諸所指導を仰ぎつつ連携を図っています。また地域包括支援センターからは幾度となく空室の問い合わせをもらっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は共有意識の基に身体拘束しない介護を全職員に周知し意識し実践しています。	認知症の症状が進み、暴言・暴力がでて職員が災難にあうことも間々あり、委員会で協議するとともに、医師に薬の調整を再依頼したり、職員のオペレーションも改良を加え、なんとか拘束に至らずにいるというケースもあります。	委員会の委員とオブザーブメンバーの記載を整理し、委員が誰か明瞭に示されることを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内で虐待が見過ごされる事が無いよう職員同士で話し合い、注意を払い防止に努めています。		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎月AA課程を実施し、勉強会を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前面談、パンフレット等を通じて、家族様の訪問や施設見学随時行い、契約を結ぶ際、解約する際は利用者や家族等の不安や疑問を訪ね、十分な説明を行い納得をして頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族や利用者様からの意見や要望があった時には、管理者と職員は解決に向けて取り組んでいます。ホーム便りに利用者の消耗品の購入を依頼し家族の訪問の機会を作り意見を収集しています。	家族に毎月送る「蓮池だより」は、共通のことはパソコンで、個人のことは手書きでと判りやすく作成されており、家族アンケートでも事業所の対応、特に報連相について信頼されていることが確認できます。	「蓮池だより」や運営推進会議の議事録に写真掲載があると、状況が伝わりやすいと思います。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の朝礼時、職員にその都度意見や個人的な提案を聞いて運営に反映しています。	80歳となる職員もおり、全体に年齢が高いことから、管理者の度量が求められることもありますが、職員は概ね協力しあえています。近年職員意見で段取りを変えたといった例はありませんが、現在の管理者となって通信の構成に手を加えています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の間から出た意見や提案を聞いて、各自向上心を持って働ける環境作りに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月法人が開催するAA課程を行い、系列施設との交流を持ったり、勉強会を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同グループの、稲沢重本の家と交流を図り、情報交換を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で生活状況を把握するように努め、職員が本人に受け入れられる様な関係作り心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が望んでいるものを理解し、これまでの経緯についてゆっくり聞くようにしている。話を聞くことにより、信頼関係も深められ相談に繋がられる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の思い・状況を確認し、改善に向けた支援の提案を行うと共に、早急な対応が必要な場合、可能な限り柔軟な対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、穏やかで活気のある生活が出来るよう配慮しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時、一緒に会話したり、近況報告をし、信頼関係を作っています。身体的に変化ある場合は随時報告しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日頃の会話の中で情報を聞いたり、家族から話を聞いたりして情報を得て支援しています。	窓越しの面会のほか、玄関で距離を保っての面会など、コロナの状況に応じて家族面会の方法を少しずつ替え、できるだけ「会えた」「話した」と感じてもらえるよう工夫を続けています。また珈琲の愛飲者には欠かさず提供していますが、要望はこの1名のみです。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う人、そうでない人と場面に応じて席替えしたりと対応しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、電話で近況確認と相談や支援に努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族とのコミュニケーションを大切に利用者様の状況の報告や昔の話の中からご本人様の喜びを知る事に努めています。	「珈琲が飲みたい」位で要望の声がほとんどない利用者ですが、タオルたたみなどで気分を紛らすといったことは職員が気配りして環境を整えています。一方、家族のリクエストには速やかに対応していることはアンケートで確認がとれています。	利用者が言葉にしないこと、表情に出さないことなど、ウオツの掘り起こしができる職員が育つことを期待します。例、お風呂の日を覚えていて早い時間から着替えを用意している⇒回数を増やしたいのかな？
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人に昔の話を聞いたり、ご家族の訪問時に話を聞いて、情報の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活リズムを理解した上、日々変化していく体調を考慮しながら、心身状況をチェックしより良い暮らしをいいて頂けるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族様より意見を聞き、アセスメントを含め職員全体で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っています。	各ユニットに計画作成担当者を配置し、その内の1名が介護支援専門員の資格をもつとの堅固な体制を敷いています。介護支援専門員は助言のみで、各ユニット独立してカンファレンスをおこない計画作成に臨んでいます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人介護記録をつけ、気づきがあれば、詳細記録に記載、職員間で情報共有し介護に取り組んでいます。現状に添うように担当者会議を開催し、見直しを行い、介護計画を立てています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況に応じて、通院等必要な支援は柔軟に対応し施設で行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市からの敬老会の催しの案内がありましたが、コロナ禍なので中止させて頂きました。室内での誕生日会、敬老会、毎月催しを提供して楽しんで頂けるよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、ご本人・ご家族様の希望する医院にして頂いています。協力医もあり、2週間ごと以外にも相談したり、他の医療機関にも紹介して頂く等支援している。利用者様の医療情報は家族を通じて医師とホームが共有しています。	1名が在宅の頃からの医師に家族の付き添いで通い、他は協力医(訪問診療)に変更しています。各ユニット1名ずつ3名の准看が介護職として勤務し、週1回訪問の看護師が健康管理に訪れていて、医療環境の水準は他事業所に比べ高いものがあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による、迅速な対応が24時間連携体制出来ています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院した際、2日以内に医療相談員に連絡して、市のアセスメントシートをFAX送信して情報交換行っています。そうする事で、退院日の調整もスムーズに行えています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	万が一に備え、ご家族やキーパーソンの意見を聴取させて頂いています。ご本人やご家族様の意向に沿った終末期を過ごして頂けるように医療機関と連携を図りチームで支援しています。	医療環境は整備されているものの、「看取りはおこなわない」方針で、家族とは契約の段階で合意形成できています。ただし、全くしないというわけではなく、身よりのない利用者の旅立ちでは協力医の支援も得て、職員総意で看取りを取りはからった例もあります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部での研修が出来ないので、毎月AA課程を実施し、勉強会を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消火訓練を、昼・夜を想定し訓練している。職員間での役割分担をし、利用者が安全に避難出来るよう努めています。	コロナ禍ですが、「消防署の立ちあいをお願いする」以外のことはつつがなく通常通り実施しています。日中と夜間想定で各1回ずつおこない、水消火器も借りてきて、利用者も外に集まって避難訓練として、役割も確認済みです。	木曾川がどの程度の氾濫がありそうなのか、平屋で垂直避難ができないため、早期に調べることを期待します。

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用様には(さん)をつけ、職員は敬意をもって接しています。各居室に入室する際は、ノックをしご本人に声かけを行ってから入室するようにしています。	タオルや本、食材など共用空間にあるものを自室にしまい込み、自分のものと他人のものが区別できなくなってしまう人の症状なども身体的拘束適正化検討委員会で議題にあげ、「どのようにしたらその人の尊厳が護られるか」を話し合う場を増やしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は利用者との会話を大切にし、何気ない言葉の中から、本人の思いを見つけ出し、希望に添える介護に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、入眠の時間・食事・入浴に関してご本人の気持ちを理解しながら進めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節にあった洋服を着て頂けるよう家族様に持参して頂き、援助している。3ヶ月に1回美容院の訪問があり、利用者の希望を聞いてカットして頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様のレベルに合わせた食事形態を工夫しています。また、食後の食器洗いや野菜の皮むき等一緒に行っています。	焼きそばやうどんといった軽食はなく、主菜と副菜2品のしっかりとした食事を毎回提供していることを献立表で視認しました。鏡開きでは小豆から炊いてぜんざいとし、お餅の代わりにお麩をつかい、慣れ親しんだ行事や食事が続く工夫があります。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食個別に食事の摂取量を記入し、健康や状態観察を行っています。嚥下の悪い利用者様にはその人に合わせた食事形態を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎週訪問歯科受診があり、口腔衛生管理に関し助言して管理してもらっています。本人のレベルに合わせ、出来る事は行ってもらい、出来ない方は、口腔ケアや義歯の洗浄等行い清潔を保っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄記録を記入し、排泄パターンを把握し、オムツ類は出来るだけ最小限に使用するようにしたり、声掛け・誘導方法について職員間で話し合いを重ね、自立排泄が出来るよう支援しています。	車いすを必要とする5名の方がやや重くなっていて、内4名がベッド上の交換を余儀なくされています。事業所全体としては平均介護度2で、98歳で歩行器を使って室内を自在に歩ける人もいますが、排泄については多かれ少なかれ介助が必要です。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を確認し、便秘の場合主治医に相談し排便コントロールしている。水分摂取量や活動出来るよう支援しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回個浴で入浴して頂いています。希望のある方はその都度入浴してもらっています。季節を感じるよう、柚湯、菖蒲湯等楽しんでもらえる様心掛けています。体調不良の方は、陰洗・清拭を行っています。	浴槽をまたげなくなった4名はシャワー浴です。お湯は掛け流しで1日に数名ずつ順次入浴していて、利用者自身(お一人)はおよそ週2回入浴日があります。菖蒲湯、柚子湯にも取り組み、鼻歌が出来るほどゆったり過ごしてもらっています。	利用者からは声がありませんが、家族は入浴回数が気になる人もいるため、事業所の方針を理解してもらうとともに代替案の検討を期待します。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は起きて活動出来るよう声掛けし、生活のリズムを整え夜間しっかり入眠して頂けるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人づつ服薬管理確認し、症状の変化等記録を取りきめチェックしています。薬の管理は複数のスタッフで確認、服薬支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の楽しみをして頂くように、その人の出来る事はお願ひしてやって頂き、生活の張りを持って貰うように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調や天候を見ながら散歩をし、近くの神社や季節の花を観賞して楽しんでいる。協力して頂ける家族と一緒に買い物外出して頂く事もあります。	コロナ禍を鑑み、散歩と畑や花壇の水やりが主になっていますが、6月には紫陽花祭りに出かけ、車中から色鮮やかな花を眺めることができ、利用者も喜んでくださいました。また桜の花見では人のいない場所を選び、車から降りてしばし季節を堪能することが叶っています。	



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族よりお小遣いとして預かり、施設で管理しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望時、必要に応じて電話対応しています。家族様からも連絡いただいています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に過ごして頂けるよう、トイレ・居間・風呂場等場所の把握がしやすい様、大きく文字表示しています。また、季節感を演出する掲示物を毎月利用者様と一緒に作成し工夫しています。	数ヶ月に1度は壁画を時節行事や季節の花を模したもので飾り付け、一種の模様替えが定期的であり、彩りを添えています。また職員が赤鬼、青鬼に扮して豆まきをしたり、スイカ割りなど、室内でも楽しめる行事に力を入れています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアで食事をされる際の場所の固定を行い、気の合った方達と楽しく過ごせるよう空間作りに努めています。決まった場所がある事で、一人でもフロアで過ごせる場所の確保作りをしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に新しく購入するのではなく、ご本人が使用していた馴染みの物を持参して頂き、生活の場が変わっても安心して過ごせるようにしています。	家からの持ち込みは多くはありませんが、レク作品やお誕生日カードなど、仲間や職員との思い出の詰まったものが並ぶ居室が大半です。最近では「コロナで会えないから」「忘れちゃうと困るから」と家族が写真を届けてくれ、自室に飾る人が増えています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	今ある機能を維持出来るよう、必要な目印をつけたり、物の配置の配慮など、居室内を一緒に整理したりできる事を見極め、個々の支援を行っている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2373700315		
法人名	有限会社 政経		
事業所名	グループホーム尾西蓮池の家 2号館		
所在地	一宮市蓮池郷東 20-2		
自己評価作成日	令和4年8月31日	評価結果市町村受理日	令和4年9月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaisokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2373700315-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2373700315-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県新城市黒田字大岡132番地2		
訪問調査日	令和4年9月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事は3食手作りで、皆様「美味しい」と楽しみにされています。</li> <li>・ミキサー食・刻み食・粥・普通食等一人一人に合わせた形態で作っています。</li> <li>・ラジオ体操・歌の時間は毎朝行い、身体を動かす時間を作っています。</li> <li>・昼食前には毎回口腔体操行い、誤嚥防止行っています。</li> <li>・コロナ禍で外出支援できないが、4月の桜・6月紫陽花のお花見に近隣へ外出し気分転換図っています。各館で、塗り絵・計算問題・漢字の書き取り、洗濯たたみ、編み物等本人のやりたい事を行い、楽しさを提供しています。</li> </ul>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>管理者も一職員としての勤務が長く、職員にも慣れ親しんだ人が多く居て「つつがなく毎日が送れる」という点では安心です。家族も「本人の帰宅願望が減ったのは職員のおかげと感謝している」「家族ではできない書類手続きなどを嫌な顔をせずにやってくれる」と、評判は上々です。やや心配なのは職員の高齢化が年々進んでいることで、品質が担保されていけるのかということは中長期の課題ですが、それでも食事は手作りで、毎月何らかの行事開催をおこない、2、3ヶ月に1度は壁画製作で季節を感じてもらい、畑で収穫の喜びを味わってもらうことはできていて、「大嫌いなのお花見にいった」として家族を驚かせた外出支援も叶っています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は、理念を共有し、実践に向けて日々取り組んでいます。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	隣の畑の方と挨拶したり気軽に話掛けて下さる。畑で出来たスイカの差し入れがあります。コロナ禍の為、外出は中止。散歩時、近隣の方との挨拶交わしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方の理解や支援を地域の人々が気軽にホームに来て頂けるよう、民生委員、町内役員さんや近隣のケアマネさん、家族様に面会や訪問して頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍、運営推進会議中止しています。前回同様2ヶ月分の活動内容を市役所介護保険課・包括支援センター、町会長、民生委員に持参して、空き状況伝えて、相談に応じています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所に月に何度か訪問して、市の担当者と情報交換や入居者の相談をして協力体制を築いています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は共有意義の基に身体拘束しない介護を全職員に周知し意識し実施しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内で、虐待が見過ごされる事が無いよう職員同士で話し合い、注意を払い防止に努めています。		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎月AA課程を実施し、勉強会を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前面談、パンフレット等を通じて、家族様の訪問や施設見学随時行い、契約を結ぶ際、解約する際は利用者や家族等の不安や疑問を訪ね、十分な説明を行い納得をして頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族や利用者様からの、意見や要望があった時には、管理者と職員は解決に向けて取り組んでいます。ホーム便りに利用者の消耗品の購入を依頼し家族の訪問の機会を作り意見を収集しています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の朝礼時、職員にその都度意見や個人的な提案を聞いて運営に反映しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の間から出た意見や提案を聞いて、各自向上心を持って働ける環境作りに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月法人が開催するAA課程を行い、系列施設との交流を持ったり、勉強会を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同グループの、稲沢重本の家と交流を図り、情報交換を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で生活状況を把握するように努め、職員が本人に受け入れられる様な関係作り心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が望んでいるものを理解し、これまでの経緯についてゆっくり聞くようにしている。話を聞くことにより、信頼関係も深められ相談に繋がられる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の思い・状況を確認し、改善に向けた支援の提案を行うと共に、早急な対応が必要な場合、可能な限り柔軟な対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、穏やかで活気のある生活が出来るよう配慮しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時、一緒に会話したり、近況報告をし、信頼関係を作っています。身体的に変化ある場合は随時報告しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日頃の会話の中で情報を聞いたり、家族から話を聞いたりして情報を得て支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う人、そうでない人と場面に応じて席替えしたりと対応しています。		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、電話で近況確認と相談や支援に努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族とのコミュニケーションを大切に利用者様の状況の報告や昔の話の中からお本人様の喜びを知る事に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人に昔の話を聞いたり、ご家族の訪問時に話を聞いて、情報の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活リズムを理解した上、日々変化していく体調を考慮しながら、心身状況をチェックしより良い暮らしをいて頂けるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族様より意見を聞き、アセスメントを含め職員全体で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人介護記録をつけ、気づきがあれば、詳細記録に記載、職員間で情報共有し介護に取り組んでいます。現状に添うように担当者会議を開催し、見直しを行い、介護計画を立てています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況に応じて、通院等必要な支援は柔軟に対応し施設で行っています。		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市からの敬老会の催しの案内がありましたが、コロナ禍なので中止させて頂きました。室内での誕生日会、敬老会、毎月催しを提供して楽しんで頂けるよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、ご本人・ご家族様の希望する医院にして頂いています。協力医もあり、2週間毎ごと以外にも相談したり、他の医療機関にも紹介して頂く等支援している。利用者様の医療情報は家族を通じて医師とホームが共有しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による、迅速な対応が24時間連携体制出来ています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院した際、2日以内に医療相談員に連絡して、市のアセスメントシートをFAX送信して情報交換行っています。そうする事で、退院日の調整もスムーズに行えています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	万が一に備え、ご家族やキーパーソンの意見を聴取させて頂いています。ご本人やご家族様の意向に沿った終末期を過ごして頂けるように医療機関と連携を図りチームで支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部での研修が出来ないので、毎月AA課程を実施し、勉強会を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消火訓練を、昼・夜を想定し訓練している。職員間での役割分担をし、利用者が安全に避難出来るよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用様には(さん)をつけ、職員は敬意をもって接しています。各居室に入室する際は、ノックをしご本人に声かけを行ってから入室するようにしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は利用者との会話を大切にし、何気ない言葉の中から、本人の思いを見つけ出し、希望に添える介護に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、入眠の時間・食事・入浴に関してご本人の気持ちを理解しながら進めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節にあった洋服を着て頂けるよう家族様に持参して頂き、援助している。3ヶ月に1回美容院の訪問があり、利用者の希望を聞いてカットして頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様のレベルに合わせた食事形態を工夫しています。また、食後の食器洗いや野菜の皮むき等一緒に行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食個別に食事の摂取量を記入し、健康や状態観察を行っています。嚥下の悪い利用者様にはその人に合わせた食事形態を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎週訪問歯科受診があり、口腔衛生管理に関して助言して管理してもらっています。本人のレベルに合わせ、出来る事は行ってもらい、出来ない方は、口腔ケアや義歯の洗浄等行い清潔を保っています。		



## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄記録を記入し、排泄パターンを把握し、オムツ類は出来るだけ最小限に使用するようにしたり、声掛け・誘導方法について職員間で話し合いを重ね、自立排泄が出来るよう支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を確認し、便秘の場合主治医に相談し排便コントロールしている。水分摂取量や活動出来るよう支援しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回個浴で入浴して頂いています。希望のある方はその都度入浴してもらっています。季節を感じるよう、柚湯、菖蒲湯等楽しんでもらえる様心掛けています。体調不良の方は、陰洗・清拭を行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は起きて活動出来るよう声掛けし、生活のリズムを整え夜間しっかり入眠して頂けるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人づつ服薬管理確認し、症状の変化等記録を取りきめチェックしています。薬の管理は複数のスタッフで確認、服薬支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の楽しみをして頂くように、その人の出来る事をお願いしてやって頂き、生活の張りを持って貰うように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調や天候を見ながら散歩をし、近くの神社や季節の花を鑑賞して楽しんでいる。協力して頂ける家族と一緒に買い物外出して頂く事もあります。		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族よりお小遣いとして預かり、施設で管理しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望時、必要に応じて電話対応しています。家族様からも連絡いただいています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に過ごして頂けるよう、トイレ・居室・風呂場等場所の把握がしやすい様、大きく文字表示しています。また、季節感を演出する掲示物を毎月利用者様と一緒に作成し工夫しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアで食事をされる際の場所の固定を行い、気の合った方達と楽しく過ごせるよう空間作りに努めています。決まった場所がある事で、一人でもフロアで過ごせる場所の確保作りをしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に新しく購入するのではなく、ご本人が使用していた馴染みの物を持参して頂き、生活の場が変わっても安心して過ごせるようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	今ある機能を維持出来るよう、必要な目印をつけたり、物の配置の配慮など、居室内を一緒に整理したりできる事を見極め、個々の支援を行っている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2373700315		
法人名	有限会社 政経		
事業所名	グループホーム尾西蓮池の家 3号館		
所在地	一宮市蓮池郷東 20-2		
自己評価作成日	令和4年8月31日	評価結果市町村受理日	令和4年9月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaisokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2373700315-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2373700315-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県新城市黒田字大岡132番地2		
訪問調査日	令和4年9月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事は3食手作りで、皆様「美味しい」と楽しみにされています。</li> <li>・ミキサー食・刻み食・粥・普通食等一人一人に合わせた形態で作っています。</li> <li>・ラジオ体操・歌の時間は毎朝行い、身体を動かす時間を作っています。</li> <li>・昼食前には毎回口腔体操行い、誤嚥防止行っています。</li> <li>・コロナ禍で外出支援できないが、4月の桜・6月紫陽花のお花見に近隣へ外出し気分転換図っています。各館で、塗り絵・計算問題・漢字の書き取り、洗濯たたみ、編み物等本人のやりたい事を行い、楽しさを提供しています。</li> </ul>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>管理者も一職員としての勤務が長く、職員にも慣れ親しんだ人が多く居て「つつがなく毎日が送れる」という点では安心です。家族も「本人の帰宅願望が減ったのは職員のおかげと感謝している」「家族ではできない書類手続きなどを嫌な顔をせずにやってくれる」と、評判は上々です。やや心配なのは職員の高齢化が年々進んでいることで、品質が担保されていけるのかということは中長期の課題ですが、それでも食事は手作りで、毎月何らかの行事開催をおこない、2、3ヶ月に1度は壁画製作で季節を感じてもらい、畑で収穫の喜びを味わってもらうことはできていて、「大嫌いなのお花見にいった」として家族を驚かせた外出支援も叶っています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は、理念を共有し、実践に向けて日々取り組んでいます。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣の畑の方と挨拶したり気軽に話掛けて下さる。畑で出来たスイカの差し入れがあります。コロナ禍の為、外出は中止。散歩時、近隣の方との挨拶交わしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方の理解や支援を地域の人々が気軽にホームに来て頂けるよう、民生委員、町内役員さんや近隣のケアマネさん、家族様に面会や訪問して頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍、運営推進会議中止しています。前回同様2ヶ月分の活動内容を市役所介護保険課・包括支援センター、町会長、民生委員に持参して、空き状況伝えて、相談に応じています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所に月に何度か訪問して、市の担当者と情報交換や入居者の相談をして協力体制を築いています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は共有意義の基に身体拘束しない介護を全職員に周知し意識し実施しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内で、虐待が見過ごされる事が無いよう職員同士で話し合い、注意を払い防止に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎月AA課程を実施し、勉強会を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前面談、パンフレット等を通じて、家族様の訪問や施設見学随時行い、契約を結ぶ際、解約する際は利用者や家族等の不安や疑問を訪ね、十分な説明を行い納得をして頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族や利用者様からの、意見や要望があった時には、管理者と職員は解決に向けて取り組んでいます。ホーム便りに利用者の消耗品の購入を依頼し家族の訪問の機会を作り意見を収集しています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の朝礼時、職員にその都度意見や個人的な提案を聞いて運営に反映しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の間から出た意見や提案を聞いて、各自向上心を持って働ける環境作りに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月法人が開催するAA課程を行い、系列施設との交流を持ったり、勉強会を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同グループの、稲沢重本の家と交流を図り、情報交換を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で生活状況を把握するように努め、職員が本人に受け入れられる様な関係作り心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が望んでいるものを理解し、これまでの経緯についてゆっくり聞くようにしている。話を聞くことにより、信頼関係も深められ相談に繋がられる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の思い・状況を確認し、改善に向けた支援の提案を行うと共に、早急な対応が必要な場合、可能な限り柔軟な対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、穏やかで活気のある生活が出来るよう配慮しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時、一緒に会話したり、近況報告をし、信頼関係を作っています。身体的に変化ある場合は随時報告しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日頃の会話の中で情報を聞いたり、家族から話を聞いたりして情報を得て支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う人、そうでない人と場面に応じて席替えしたりと対応しています。		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、電話で近況確認と相談や支援に努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族とのコミュニケーションを大切に利用者様の状況の報告や昔の話の中からお本人様の喜びを知る事に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人に昔の話を聞いたり、ご家族の訪問時に話を聞いて、情報の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活リズムを理解した上、日々変化していく体調を考慮しながら、心身状況をチェックしより良い暮らしをいいて頂けるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族様より意見を聞き、アセスメントを含め職員全体で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人介護記録をつけ、気づきがあれば、詳細記録に記載、職員間で情報共有し介護に取り組んでいます。現状に添うように担当者会議を開催し、見直しを行い、介護計画を立てています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況に応じて、通院等必要な支援は柔軟に対応し施設で行っています。		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市からの敬老会の催しの案内がありましたが、コロナ禍なので中止させて頂きました。室内での誕生日会、敬老会、毎月催しを提供して楽しんで頂けるよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、ご本人・ご家族様の希望する医院にして頂いています。協力医もあり、2週間毎ごと以外にも相談したり、他の医療機関にも紹介して頂く等支援している。利用者様の医療情報は家族を通じて医師とホームが共有しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による、迅速な対応が24時間連携体制出来ています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院した際、2日以内に医療相談員に連絡して、市のアセスメントシートをFAX送信して情報交換行っています。そうする事で、退院日の調整もスムーズに行えています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	万が一に備え、ご家族やキーパーソンの意見を聴取させて頂いています。ご本人やご家族様の意向に沿った終末期を過ごして頂けるように医療機関と連携を図りチームで支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部での研修が出来ないので、毎月AA課程を実施し、勉強会を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消火訓練を、昼・夜を想定し訓練している。職員間での役割分担をし、利用者が安全に避難出来るよう努めています。		



### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用様には(さん)をつけ、職員は敬意をもって接しています。各居室に入室する際は、ノックをしご本人に声かけを行ってから入室するようにしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は利用者との会話を大切にし、何気ない言葉の中から、本人の思いを見つけ出し、希望に添える介護に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、入眠の時間・食事・入浴に関してご本人の気持ちを理解しながら進めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節にあった洋服を着て頂けるよう家族様に持参して頂き、援助している。3ヶ月に1回美容院の訪問があり、利用者の希望を聞いてカットして頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様のレベルに合わせた食事形態を工夫しています。また、食後の食器洗いや野菜の皮むき等一緒に行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食個別に食事の摂取量を記入し、健康や状態観察を行っています。嚥下の悪い利用者様にはその人に合わせた食事形態を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎週訪問歯科受診があり、口腔衛生管理に関し助言して管理してもらっています。本人のレベルに合わせ、出来る事は行ってもらい、出来ない方は、口腔ケアや義歯の洗浄等行い清潔を保っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄記録を記入し、排泄パターンを把握し、オムツ類は出来るだけ最小限に使用するようにしたり、声掛け・誘導方法について職員間で話し合いを重ね、自立排泄が出来るよう支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を確認し、便秘の場合主治医に相談し排便コントロールしている。水分摂取量や活動出来るよう支援しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回個室で入浴して頂いています。希望のある方はその都度入浴してもらっています。季節を感じるよう、柚湯、菖蒲湯等楽しんでもらえる様心掛けています。体調不良の方は、陰洗・清拭を行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は起きて活動出来るよう声掛けし、生活のリズムを整え夜間しっかり入眠して頂けるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人づつ服薬管理確認し、症状の変化等記録を取りきめチェックしています。薬の管理は複数のスタッフで確認、服薬支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の楽しみをして頂くように、その人の出来る事をお願いしてやって頂き、生活の張りを持って貰うように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調や天候を見ながら散歩をし、近くの神社や季節の花を鑑賞して楽しんでいる。協力して頂ける家族と一緒に買い物外出して頂く事もあります。		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族よりお小遣いとして預かり、施設で管理しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望時、必要に応じて電話対応しています。家族様からも連絡いただいています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に過ごして頂けるよう、トイレ・居室・風呂場等場所の把握がしやすい様、大きく文字表示しています。また、季節感を演出する掲示物を毎月利用者様と一緒に作成し工夫しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアで食事をされる際の場所の固定を行い、気の合った方達と楽しく過ごせるよう空間作りに努めています。決まった場所がある事で、一人でもフロアで過ごせる場所の確保作りをしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に新しく購入するのではなく、ご本人が使用していた馴染みの物を持参して頂き、生活の場が変わっても安心して過ごせるようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	今ある機能を維持出来るよう、必要な目印をつけたり、物の配置の配慮など、居室内を一緒に整理したりできる事を見極め、個々の支援を行っている。		